にかほ市の地域包括ケアシステム関連事業　令和6年度事業チェック シート

目指す姿	地域包括支援センターで行っている事業	R6年度の実施状況	比較	R7年度に向けての評価
≪大目標≫ 高齢者が 元気なまち （にかほ市高齢者支援計画より） ↓ にかほ市の地域包括ケアシステムの目指す姿 **住み慣れた地域でいつまでも元気に生きがいを持ちながら、人生の最期まで暮し続けることができる** ↓ そのために・・・・ **医療・介護・介護予防（健康）・住まい・生活支援が一体的に継続的に確保される地域づくり**	医療と介護のスムーズな連携のために **「在宅医療・介護連携推進事業」** **〇医療・介護関係者のネットワーク構築のための会議の開催** **〇多職種による連携やネットワークを目的とした研修会の開催** **〇在宅医療・介護連携をみんなに知ってもらうための普及活動**	**〇多職種による連携やネットワークを目的とした研修会の開催** 「 訪問看護を通じて経験した在宅の看取り」症例報告とGW **〇医療・介護関係者のネットワーク構築のための会議の開催** にかほ市の在宅医療・介護のロジックモデルの検討 **〇在宅医療・介護連携をみんなに知ってもらうための普及活動** 「あんしんしてコロリと逝けるお看取りを考える」の講話	例年並み 例年並み 例年並み	R6年度は研修会やネットワーク会議を例年並みに実施しました。R7年度は、次期介護保険事業計画策定に向け、当連携推進の現状を調査し、ネットワーク会議において課題抽出と解決に向けた検討を行います。
多様なサービスで一人ひとりに合った介護予防のために **「介護予防・生活支援サービス事業」** **〇総合事業訪問介護サービス（従来のヘルパー）** **〇専門職の訪問による介護予防の指導** **〇総合事業通所介護サービス（従来のデイサービス）** **〇デイサービスを緩和したミニデイサービス** **〇専門職による通所型の介護予防の指導**	**〇専門職による訪問型の介護予防の指導** 運動機能向上、低栄養改善、うつ予防の訪問を実施　実2件　延12件 **〇専門職による通所型の介護予防の指導** 実施回数26回／実人数13人／延人数123人 **〇総合事業訪問介護サービス（従来のヘルパー）** **〇総合事業通所介護サービス（従来のデイサービス）**	昨年より参加者が少ない 昨年より延人数が少い 昨年より少ない 昨年より多い	専門職による訪問及び通所型の指導事業の利用者の減少が続いており、通所型介護サービス（従前デイサービス）は、利用者が増えています。今後、介護人材不足や事業費の上限額が課題になってくることから、専門職による短期集中的な介護予防指導の強化に取組みます。
高齢者みんなが人との交流や生きがい・役割を持てる地域のために **「一般介護予防事業」** **〇「高齢者福祉・介護・医療ガイドブック」の発行** **〇介護予防のための教室や訪問の実施** **〇介護予防ボランティアの育成、介護予防ボランティアポイントの実施** **〇介護予防の取組、担い手活動へのポイント事業** **〇高齢者の通いの場（集落サロン）事業の実施** **〇リハビリ専門職の地域への派遣**	**〇「高齢者福祉・介護・医療ガイドブック」の発行** R7・8年度版を発行。R6に全戸配布。 **〇介護予防のための教室や訪問の実施** 運動機能向上、認知機能低下予防等の教室を開催 **〇ボランティアの育成、介護予防ボランティアポイントの実施** ボランティア講座5名参加、ボランティアポイント参加者60人 **〇高齢者の通いの場（集落サロン）事業の実施** 実施箇所49か所／実施延回数615回／参加実人数735人 **〇リハビリ専門職の地域への派遣** 実施延回数25回／参加実人数323人	例年並み 例年並み 昨年より少ない 昨年より実施箇所数・回数が多い 昨年より多い	「高齢者福祉・介護・医療ガイドブック」の発行は例年並みに実施できました。ミニデイサービスを一般介護予防で実施し、参加できる対象を拡充しました。す。集落サロンは月2回以上の実施に対する委託料枠を増やしたことで、開催数、参加者数全て増加となっていますが、担い手の高齢化や不足が継続と新規立ち上げの課題となっています。
日常生活上の支援の充実・強化を目指し地域・民間・市の協働で **「生活支援体制整備事業」** **〇生活支援体制整備事業協議体「ささえあい創り隊」の開催** **〇互助の地域づくりの出前講座「あったかふれあい座談会」の開催** **〇高齢者の通いの場情報交換会（担い手支援）の開催**	**〇生活支援体制整備事業協議体「ささえあい創り隊」の開催** 開催回数9回／参加延人数103人 **〇互助の地域づくりの出前講座「あったかふれあい座談会」の開催** 開催回数3回／参加延人数57人 **〇高齢者の通いの場情報交換会（担い手支援）の開催**	昨年より少ない 昨年より少ない	「ささえあい創り隊」の協力もあって、中学校区毎に高齢者の集う居場所が運営されていますが、新たな生活支援活動の創出を目指し、集落サロン等の通いの場へ出向き、参加者からニーズのヒアリングを実施します。
認知症になっても本人の意思が尊重され地域で暮らすために **「認知症総合支援事業」** **〇認知症の早期受診のための「認知症初期集中支援チーム」** **〇介護専門職等のための「認知症対応力向上研修」** **〇認知症の人や地域の人の交流の場「認知症カフェ」の開催**	**〇認知症の早期受診のための「認知症初期集中支援チーム」** 利用者実人数　8名 **〇介護専門職等のための「認知症対応力向上研修」** 「N－improを体験して認知症の理解を深めよう」講話参加者数　21名 **〇認知症の人や地域の人の交流の場「認知症カフェ」の開催** 開催回数12回／参加延人数273人	昨年より利用者数が多い 例年並み 昨年より延人数が多い	認知症の早期受診につなげる「初期集中支援チーム」活動を積極的に実施しました。また、認知症カフェは年々参加人数が増え、地域に浸透しています。 R7年度は「聞こえ」の講演会にて、認知症タッチパネルを用いた「もの忘れチェックDay」を実施予定。